



朝倉まちづくりの会には、高知大学から学生団体が参加してくれており、一緒に活動しています。ここでは、「高知大学防災すけっと隊」と「地域まちづくりプロジェクトコンパス」、「ほたる飛ばし隊!!」に活動内容を紹介してまいります。



高知大学 防災すけっと隊

私たちは来るべき「南海トラフ地震」に備え、高知県の防災力向上を目的に啓発活動を行う学生団体です。防災のネガティブなイメージを打開すべく、魅力的な防災の形を日々探求しています！

活動内容は学校での防災出前授業や、地域の備蓄とコミュニティ形成を目的とする、農業と防災を掛け合わせた「耕活プロジェクト」の実施などです。皆様には、年に数回行っている防災キャンプでの連携をはじめ、大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひします！



▲防災すけっと隊メンバー全員集合!!

地域まちづくりプロジェクト コンパス

私たち、通称「コンパス」は、高知市中心商店街を主な活動拠点として、バリアフリー・ユニバーサルデザインの観点から地域を盛り上げることを目的とする高知大学の学生団体です。設立して間もない団体ですが、福祉・観光・イベント・地域・よさこいの5つの分野で地域を盛り上げるため、日々活動しています。人文社会科学部・地域協働学部・理工学部・医学部、そして県立大学の様々な分野で勉学に励むメンバーと共に、広い視野と柔軟な思考を武器に、新たな活動を試行錯誤しながら、人と人との繋がりを大切に活動していきますので、コンパスをよろしくお願ひします！



▲高知市中心商店街で行われたまちゼミにて

ほたる飛ばし隊!!

私たち「ほたる飛ばし隊!!」は、「ほたるを通して地域とつながる」をコンセプトに活動しています。朝倉地区から鏡川周辺のほたるの飛翔地をまとめたほたるマップを作成し、大学生や地域の方々へ配布させていただいたり、ほたるの観察会に参加し、ゲンジボタルに関するクイズを子供たちと一緒にしました！少しでもほたるについて知ってもらい、ほたるの保護活動の助けになるよう頑張りたいと思います。



朝倉まちづくりの会 との関わり

朝倉まちづくりの会には、大学の防災の一環で、今は事務局長になっている伊藤君たち学生と共に顔を出したのが始まりです。

以来、水路のまち歩きをしたり、一緒に防災マップを作ったり、いろんな活動の中で朝倉の魅力、地域に入るといふこと、みんなでお酒を飲む楽しさなどを教えていただき、自分も学生も成長の機会を頂きました。最近顔をさせていませんが、また新しい学生と共に参加したいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。



高知大学 地域協働学部 大槻 知史



朝倉 まちづくりの会 第5号

H31. 3

朝倉まちづくりの会の歩み

朝倉まちづくりの会は、平成9年3月に朝倉小学校区、朝倉第二小学校区でそれぞれ策定されたコミュニティ計画を実施する地域組織として、平成16年9月に結成されました。

当初、朝倉小学校区、朝倉第二小学校区に分かれて活動を進めるのか、両校区で活動を進めるのかという議論をした結果、両校区合同で活動を行うことになりました。

その後、「防災・安全」、「自然・環境」、「教育・文化」、「にぎわい」の4部会を構成し、まちづくり活動を進めました。そして、防災マップの作成や、歴史マップ「朝倉しろやまかいわい」、「朝倉の地名」を発行するなど情報発信にも取り組んでまいりました。

その他に、全体の取り組みとして、朝倉地区の現在の姿を確認するため、6回にわたって「朝倉探訪」も実施しました。

現在は、朝倉小学校区、朝倉第二小学校区それぞれに結成された連携協議会とも連携しながら、まちづくりの会発足当時から「できることから慌てずめくく」をモットーに、朝倉地区をより良くしていくための活動に取り組んでいます。

会長あいさつ

「木の丸様」「朝倉城跡」「歩兵第44連隊」「高知大学」・・・歴史と文教の町に、元氣と潤いと笑いが溢れれば・・・

「まちづくりの会」に集まる会員の共通の思いだろう。そのために町を知りたい、人を結びたい。

それぞれの場所で、それぞれの役割を果たしながら月1回1時間半に思いがはじける。

熱い思いを紡ぎあう。生きていく証しを刻み込む。

カッコいい集団くあなたも加わりませんか。

朝倉まちづくりの会

会長 板原 正伸



編集 朝倉まちづくりの会
発行責任者 板原 正伸
連絡先 高知市地域コミュニティ推進課
(Tel: 088-823-9080)
発行日 平成31年3月

朝倉まちづくりの会に 参加しませんか?

朝倉まちづくりの会は、朝倉地域に貢献するため、毎月第2水曜日の午後7時から、朝倉ふれあいセンターで、定例会を開催しています。興味のある方はどなたでも参加できる会になっています。あなたもぜひこの輪に入りませんか?



▲毎月行われている定例会の様子。高知大学の学生も参加してくれています!



【問い合わせ先】
高知市地域コミュニティ推進課
☎823-9080

朝倉まちづくりの会 活動報告

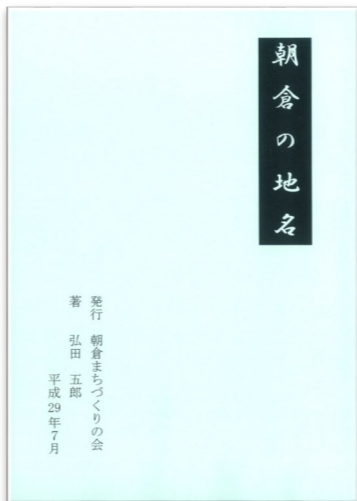
平成27年3月に発行された「朝倉まちづくりの会第4号」以来、4年ぶりの新号となりました。平成27年から現在までの朝倉まちづくりの会の取り組みを報告します!!

「朝倉の地名」を発行しました!

朝倉まちづくりの会は設立当初、「まず地域を知ること」と「まち歩き」から活動をスタートさせました。その中で、たくさんの方々の地名を知り、「御神幸」「赤鬼山」「行宮の端」・・・「どう読むの?」「どこにあるの?」「どういう意味?」などたくさんの方々の疑問が出ました。そこで、会の活動の中心的存在で、朝倉の歴史に造詣の深い弘田五郎さんに解説をお願いしました。平成20年5月から、毎月1回発行している会報の裏面を飾ってくれることになりました。その後、弘田五郎さんのこれまでの歩みのすべてが込められた連載は、10号を超えるほどになりました。平成29年、連載をいったん擱筆(かへひ)し、上梓させていただくことになりました。

筆者のことば(「朝倉の地名」より抜粋)

歴史に目覚めたのは、六十歳を過ぎてからであろうか。自分はどうしてここにいるのか。ご先祖様はどこで誰だったのか。文献の中に「先祖様の記録が残っているのに行逢うと、小躍りした。これを知らずに漫然と過ごすことはない、次第に深みに嵌まり込んだ。文献は先人が残してくれている。自分が思っている世界よりはるかにおもしろい。深く楽しんで世界だと気がついた。誰からも強制されず、いくらでも自由であった。夜と昼が変わっていても気にかけないほどのめり込んだのである。



▲弘田さん著「朝倉の地名」



あさくら安心安全マップ

朝倉まちづくりの会「安心・安全部会」は、まち歩きで取得した情報を基に、平成28年に「あさくら安心安全マップ」を作成しました。この地図は、想定される災害による被害の規模の記載に重点を置いた通常の防災マップと違い、公衆電話や福祉避難所などの災害時に重要となる場所の記載に特化した地図となっています。また、朝倉交番や救急医療情報センターの連絡先を記載することで、普段から親しみをもちご使用いただける内容となっています。

あさくら安心安全マップは朝倉地区の市民会館や医療施設に配布されており、平成31年現在も皆に愛されております。機会があったら探してみてください。



▲災害時に役立つあさくら安心安全マップ



災害に
備えよう!

朝倉地区社会福祉協議会の 福祉餅つき大会

平成30年12月14日(金)、朝倉地区社会福祉協議会主催の「福祉餅つき大会」が朝倉ふれあいセンターで開催されました。

今年には朝倉小学校、朝倉第二小学校、高知若草養護学校小園分校、朝倉中学校からたくさんの方々が参加し、朝倉まちづくりの会の会員を含む地域のボランティアと一緒に、餅をつき、丸めていました。交流会では、おいしいちらし寿司とお汁粉を食べながら、クイズやダンスなどを楽しみました。



▲生徒一人ひとりが餅をつきました!



▲地域のボランティアと餅を丸めました!

高知大学

黒潮

朝倉まちづくりの会は、会に参加してくれている学生と一緒に、毎年11月に開催される高知大学大学祭「黒潮祭」に出店しています。ここでは、平成27年から平成29年に黒潮祭の出店に携わった学生から、それぞれ報告をもらいます。

平成28年

高知市針木地区の特産物である新高梨「まるはり」を加工してつくった梨ジャムの販売と、朝倉まちづくりの会が作成した紙芝居「きよ地蔵」の上演を行いました。

梨ジャムは地域住民の皆さんや普段地域とかかわりのない学生まで、幅広い層に人気で、黒潮祭2日目の午前中までに予定していた数を完売することができました。また28年度は紙芝居を室内ではなく、人通りの多い路地沿いで上演したことで、より多くの人の目に触れることができました。



◀「まるはり」を使用した梨ジャムは大好評!

平成27年

「まちづくりと大学を結ぶ活動がしたい」という思いから、朝倉まちづくりの会に参加する他の学生に声を掛け、黒潮祭への出店が決まりました。

朝倉まちづくりの会に参加する学生は、防災やほたるを通じたまちづくりなど、それぞれの分野の団体で活動しているのですが、リーダーシップを発揮してくれた学生のおかげで、それぞれの団体が協力し合い、防災グッズの作成やそれぞれの団体の特色を活かした内容で出店することが出来ました。

平成29年

タピオカミルクティーとわたあめを販売しました!高知大学の学生団体コンパスのメンバーや地域協働学部生など、朝倉まちづくりの会を通して、繋がった学生と一緒に店を回しながら、多くのお客さんとコミュニケーションをとることができました。

最初は不慣れだったわたあめづくりも売っていくうちにどんどん上達!とても素敵な時間を過ごせた黒潮祭になりました。

